



特定非営利活動法人フリースタイル市川

野口 淳

フリースタイル市川について



フリースタイル市川

ミッション

『ひとつひとつの想いをつないで
市川に流れをつくる』

建築家

野口 淳 (のぐち じゅん)

1976年12月26日生まれ (45才)

千葉県市川市出身 A型



2001年 早稲田大学社会科学部卒業

2005年 イタリア、ミラノ工科大学卒業

2008年 フランス、ブルターニュ建築学校修士課程修了

2010年～有限会社小川真樹建築総合計画に所属

2013年 タンポポデザイン設立

2016年 株式会社タンポポデザイン 一級建築設計事務所

2019年 地元市川に「アンカー市川」をつくる

2020年 特定非営利活動法人フリースタイル市川を設立

いちカイギとは

コンセプト

市川市で地域に対する想いを持って活動している方を、3名程度、ゲストスピーカーとしてお呼びし、ご自身の生業(なりわい)についてお話しいただく定期イベントです。参加される方が、ゲストスピーカーの『生業』や、ご本人の『人となり』、地域での活動に対する『想い』を聴くことで、市川市のことをこれまで以上に知り、好きになっていただくことを目指しています。また、参加者が、ゲストスピーカーの話を受動的に聞くだけではなく、他の参加者やゲストスピーカーと対話し、交流することにより、地域や人との『つながり』が生まれ、新しい『流れ』を生み出すきっかけを作るイベントです。

これまでの登壇者



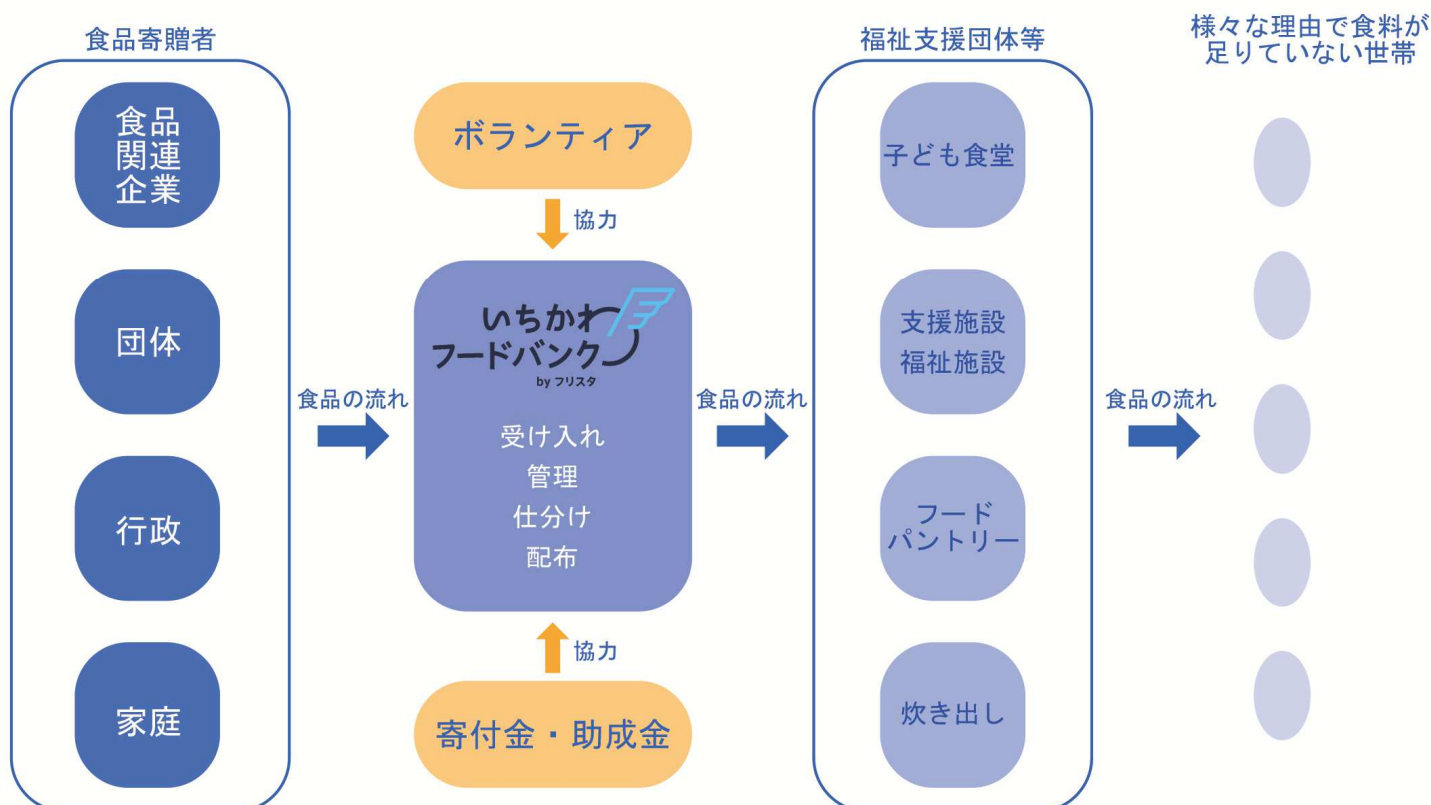


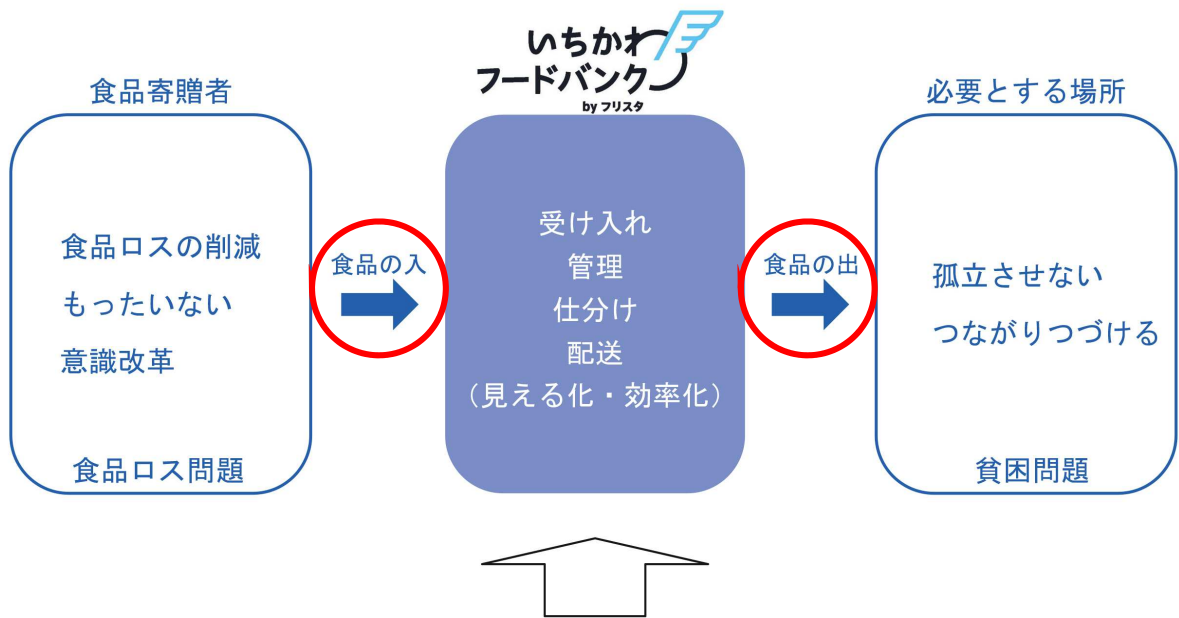
いちかわ フードバンク

by フリスタ

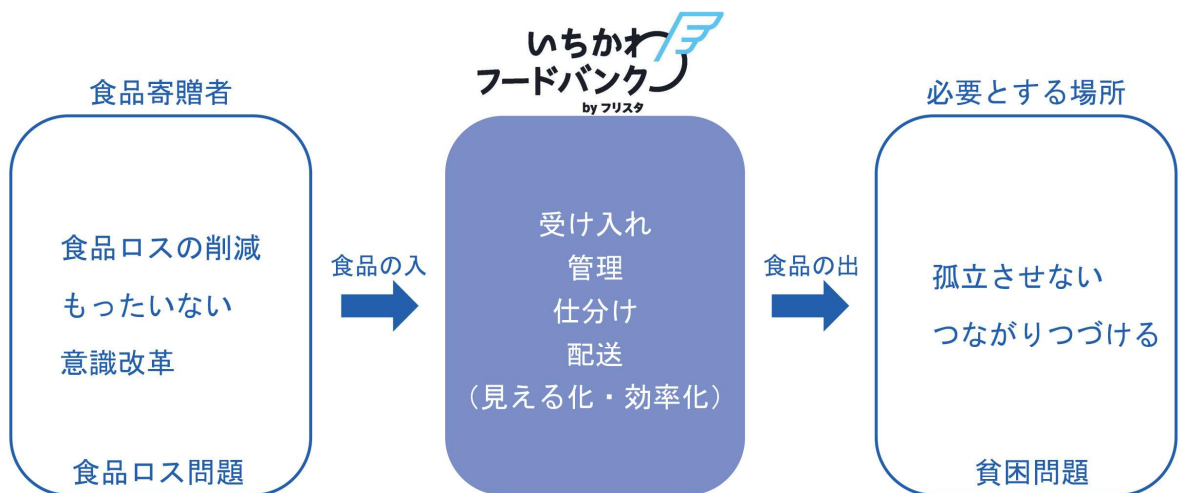
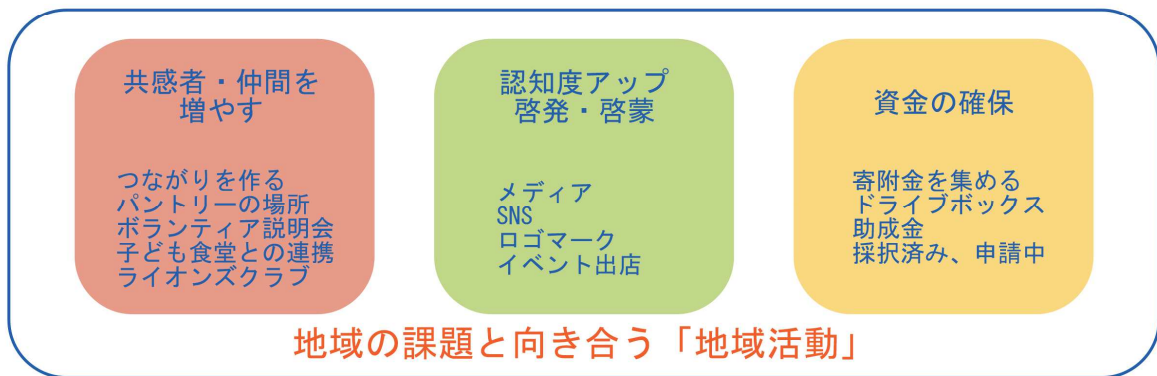


フードバンクとは





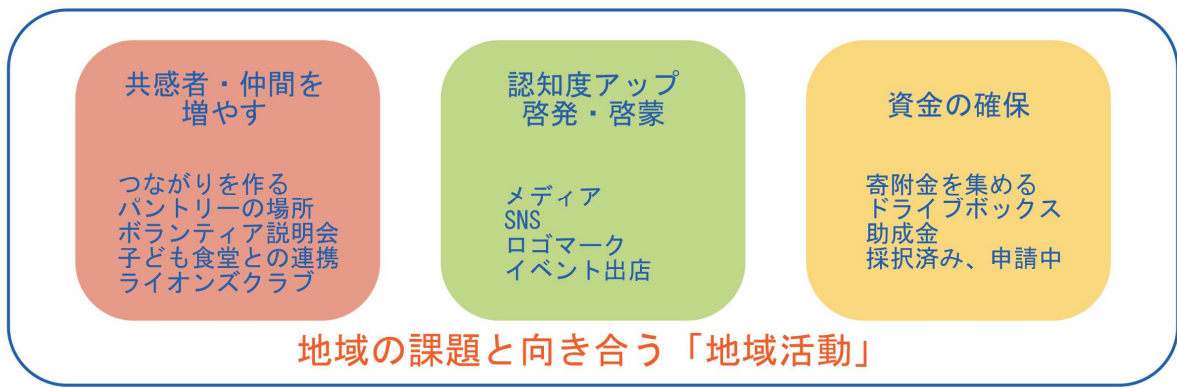
食品の入と出を大きくして、その管理を充実させるために必要なこと



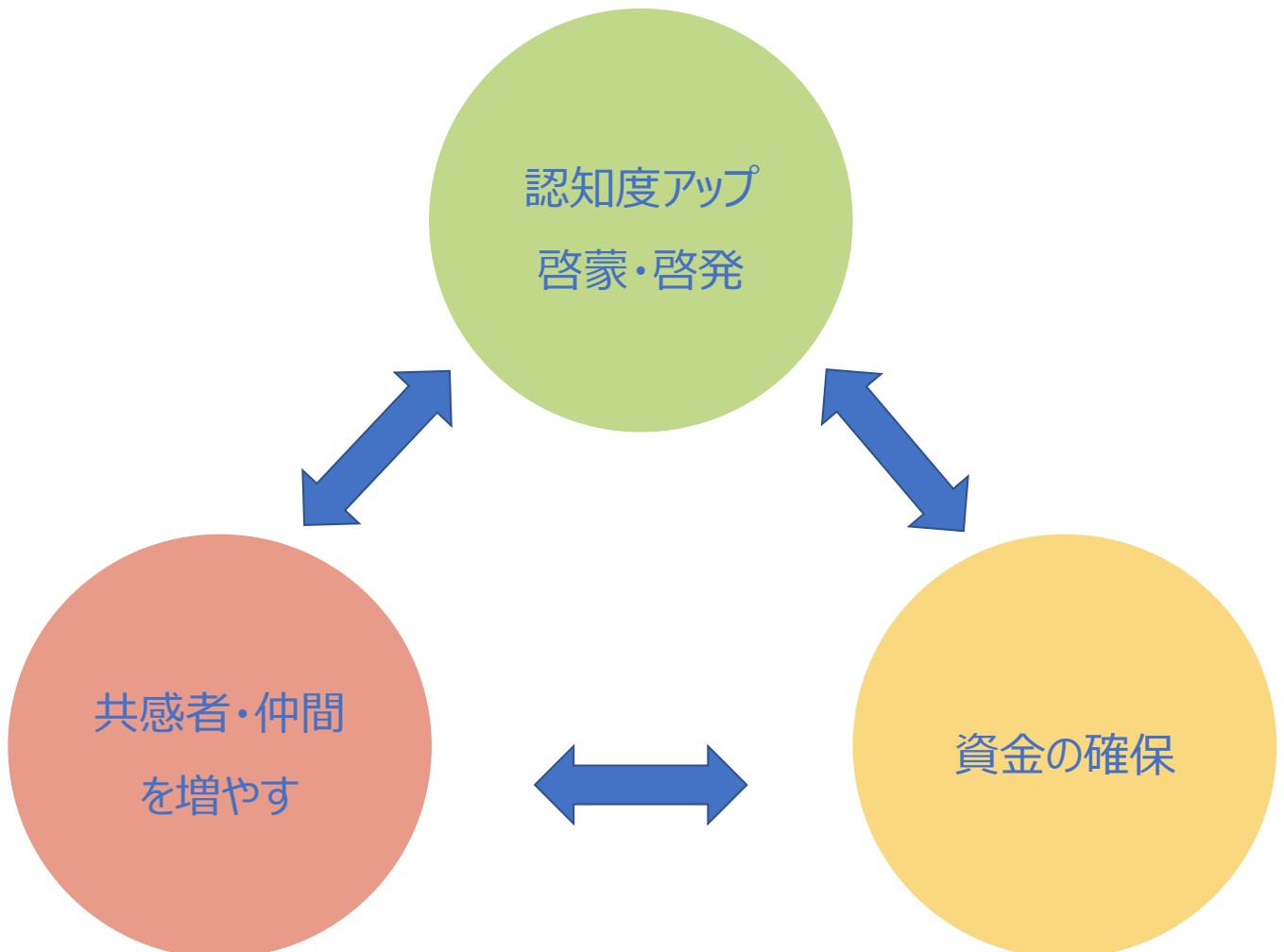
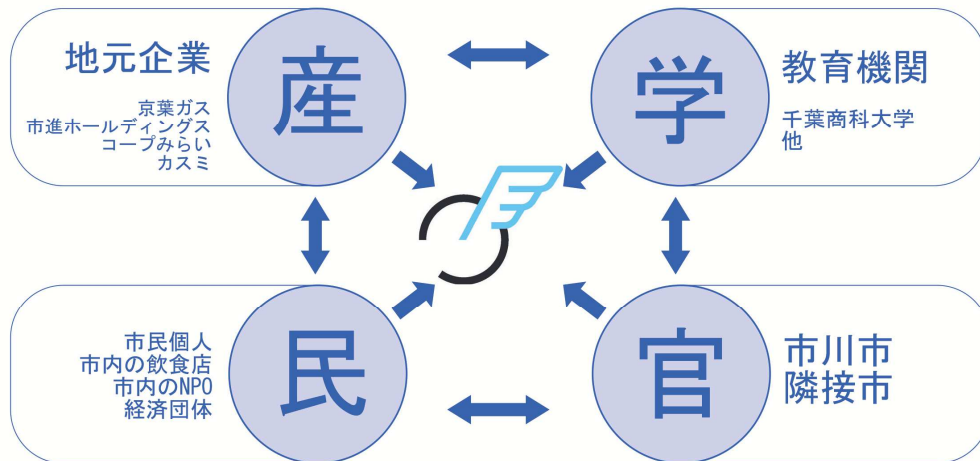
フードバンク活動を開始した2021年6月から現在までの9ヶ月間のデータ

取り扱った食品：約12トン（セカンドハーベスト・ジャパンによる「福祉貢献度」720万円）

実施したフードパントリー（9回）で食品を配布した世帯数：80世帯



フードバンク事業を通して市民や団体や企業や行政が
網目のようにつながる「地域」を作ること



共感者・仲間を増やす

京葉ガス株式会社様
による災害備蓄品の寄附

社屋にある災害時のための備蓄品の
入れ替えの時期に、まだ賞味期限が
残っている食品と水を約4400食分
提供いただき、県内のフードバンクなど
の団体と分け合いました



つぎの「うれしい!」へ。
keiYO GAS

緊急のときは

お客さま窓口

よくあるご質問

検索 キーワード 例) ガス プ

ホーム ▶ プレスリリース ▶ フードバンク寄贈を通じて、災害用備蓄品を地域の方々に提供

フードバンク寄贈を通じて、災害用備蓄品を地域の方々に提供

2021年10月18日



共感者・仲間を増やす

コープ市川店様
フードドライブボックス設置の協力

ご家庭で余った食品を持ち寄って
いただくフードドライブ。
その回収ボックスを設置させていただく



プレス発表会の様子

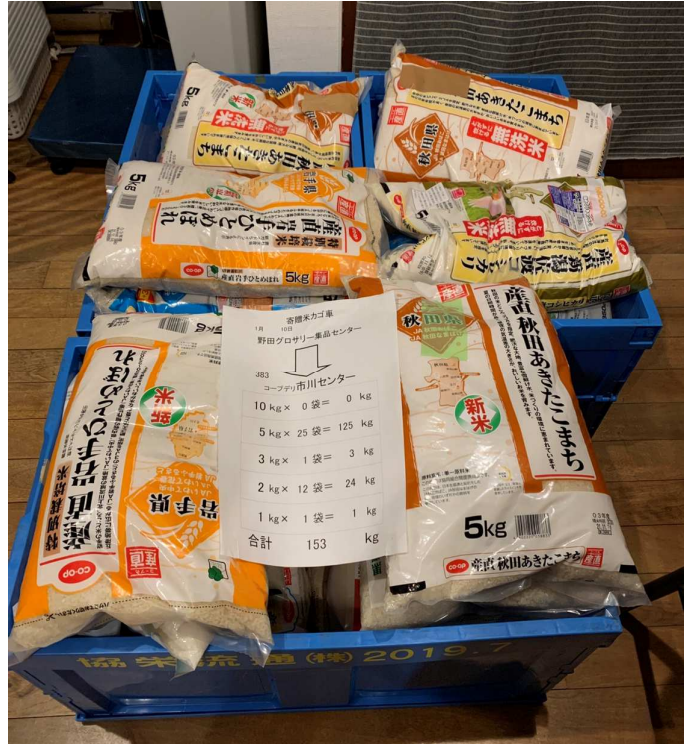


共感者・仲間を増やす

コープみらい様
による定期的な米の寄附

宅配事業での破袋した米を
集めて、県内のフードバンクに
寄附いただいています。

昨年12月よりいちかわフードバンク
Byフリースタイル市川でも毎月
150~300kg 受け取っています



共感者・仲間を増やす

市進ホールディングス様
フードパントリー開催場所提供

食品の無料配布会（フードパントリー）でたくさんの方に食品が届くために
配布会場を市内で3箇所用意しています。

そのうちの1箇所「大人の学び舎 大黒家」の場所を提供いただいています



共感者・仲間を増やす

農協様
米の提供

昨年の7月にお米1トンを市川市こども家庭支援課様
のご紹介で寄贈いただきました



共感者・仲間を増やす

CUCパントリー

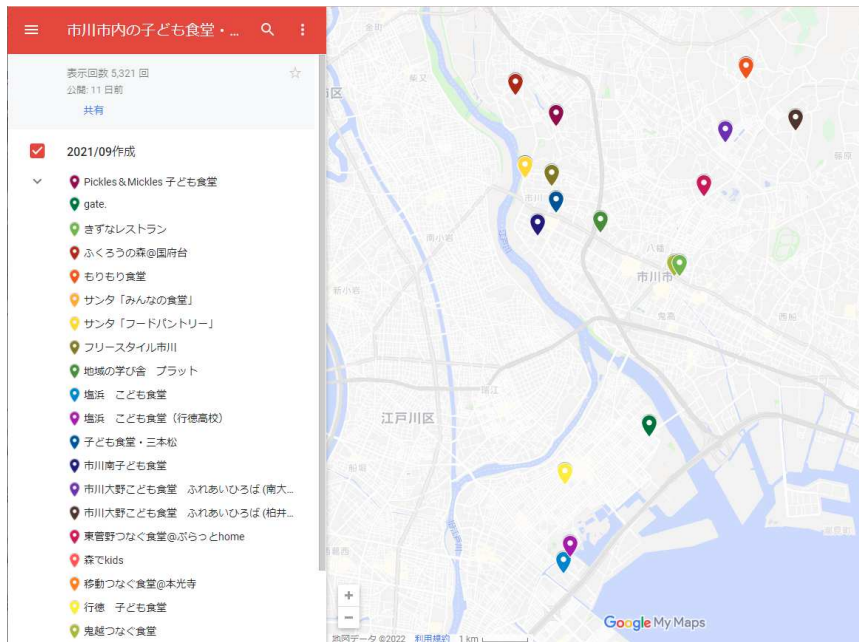
今回の助成プロジェクトの担当教員である
小口先生のご尽力で学生チームが大学内で
フードパントリーを2回開催しました



共感者・仲間を増やす

子ども食堂などの団体と連携

市川市内にある子ども食堂や、フードパントリーの実施団体、福祉支援団体と連携し食品を融通しあっています



共感者・仲間を増やす

他地域のフードバンクとの連携

同じ思いを持って活動している
県内のフードバンク団体と
相互に食品を分け合ったり
情報の共有を行っています



共感者・仲間を増やす

ライオンズクラブ様などの経済団体と連携

フードバンクでの地域のつながりを活用して
ライオンズクラブ様が必要としていた子ども食堂
とのつなぎ役としてお手伝いしました



子ども食堂でヤマザキパンのクリスマスケーキを配るライオンズクラブの皆さん

認知度アップ/啓発・啓蒙

ロゴマークの作成

いちかわ
フードバンク
by フリスタ



認知度アップ/啓発・啓蒙

イベントへの積極的な出店、PR活動

市川市内で沢山の人が集まるイベントなどに
参加することでフードバンク活動のPRや
食品をたくさん集めるきっかけを作っています



1月30日ICHI-ICHIマーケット

認知度アップ/啓発・啓蒙

メディア

ちいき新聞 2021年7月9日

市川よみうり 2021年7月17日

千葉日報 2021年9月7日

いちかわ新聞 2021年9月3日

千葉日報 2021年12月26日

等

認知度アップ/啓発・啓蒙

大学での講義

これまでに千葉商科大学様のゼミの授業に特別講師として呼んでいただいたり、学内の「ソーシャる」の取材をしていただきました



認知度アップ/啓発・啓蒙

リーフレットの作成

いただいた地域志向活動助成金を使ってフードバンク活動を広く知ってもらうためのリーフレットを作成しました



認知度アップ/啓発・啓蒙

ウェブページ、SNSの活用



【残念！】キュウビーみらいたまご財団様の助成に採択されず
 フードバンク事業を安定的に運営するために、個人の方からの寄付や寄贈をいただいている他、財団などによる助成金を



【フードドライブ】3月13日（日）ICHI-ICHIマーケットで開催！
 1月に続き、3月13日（日）に、南八幡で開催されるICHI-ICHIマーケットで、フードドライブを行います。これ



【フードバンク】SDGsとフードバンクの活動の関係
 耳目にする機会が増えている（と感じている人が多いと思われる）類、SDGsエッセイ。今日は、「いちかわフー



【寄付をいただきました】R&F Lab Kosuge様より
 市川市内でリラクゼーションとフィットネスのお店を運営されている、R&F Lab Kosuge様より、食品や衣料品などを寄贈



【フードパントリー】3拠点で実施しました
 「いちかわフードバンクbyフリスト」が毎月第2土曜日に実施しているフードパントリーは、2022年1月までは真間の



【お花をいただきました】移動販売kiku-su様より
 本日（2022年2月12日）は、15時から市川市内の3箇所での無料配布会「フードパントリー」を行います。今月か



【連携します】市進ホールディングス様との取り組みスタ



【フードバンク】リーフレットを配布しています



【フードドライブ】ICHI-ICHIマーケットで実施しました！



認知度アップ/啓発・啓蒙


CUCの学生チーム いちカイギに登壇！

2月23日にフリスト市川が主催する「いちカイギ」にCUCパントリーの学生が登壇しました



資金の確保

寄附金サイトの立ち上げ

 フリースタイル市川

フリースタイル市川 | フードバンク | いちカイギ | 源流 | お問い合わせ | 寄付する

2022. 02. 26



お金の寄付について

フードバンク事業を持続可能にするためには、皆様の温かいご支援が必要不可欠です。
いただいた寄付は、設備維持費や輸送費、スタッフの交通費などに活用させていただきます。

寄付の方法は、

1. クレジットカード払い
2. 銀行振込み

の2つの決済方法に対応しています。

資金の確保

助成金・補助金の活用

■ 地域志向活動助成金

(千葉商科大学様)

■ 赤い羽根全国キャンペーン

■ 暮らしと地域づくり助成

(コープみらい様)

申請中

■ いちサポ補助金



 千葉商科大学
Chiba University of Commerce

地域志向活動助成金制度

2021年度募集のご案内

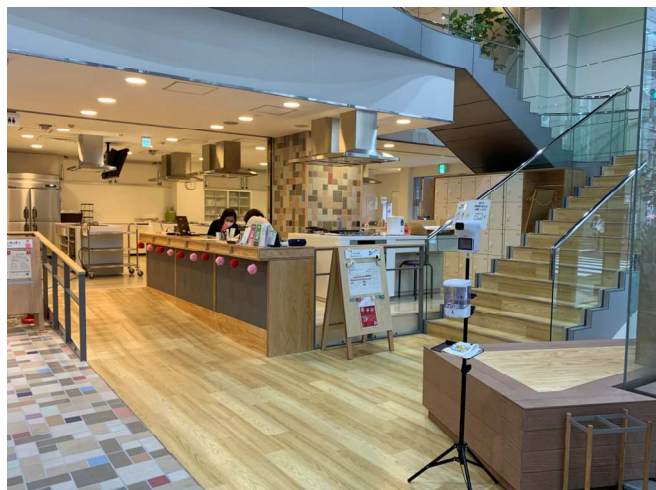
あなたの活動を千葉商科大学がサポートします！

ありがとうございます！

資金の確保

フードドライブボックスの設置

食品を集めるための方法として
フードドライブボックスの設置を進めています
現在、コープ市川店様では実施済み。
京葉ガス「てらす」様と設置を合意しました



資金の確保

チャリティーショップ

フードパントリー開催日などに、寄附で集まった日用品などを並べて
「チャリティーショップ」を開催して、地域の皆さんへの啓発と資金集めをしています



食品の受取り、管理、仕分け、配送

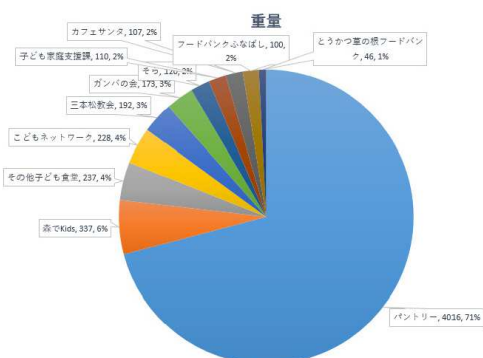
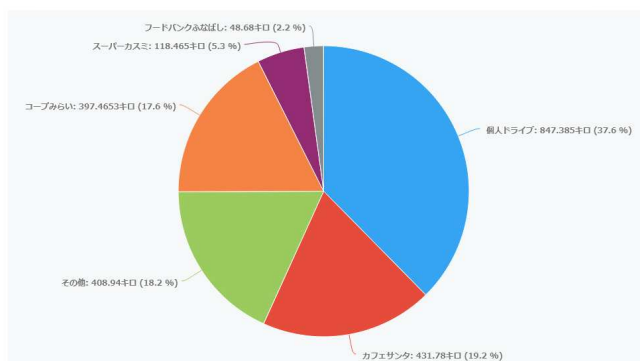
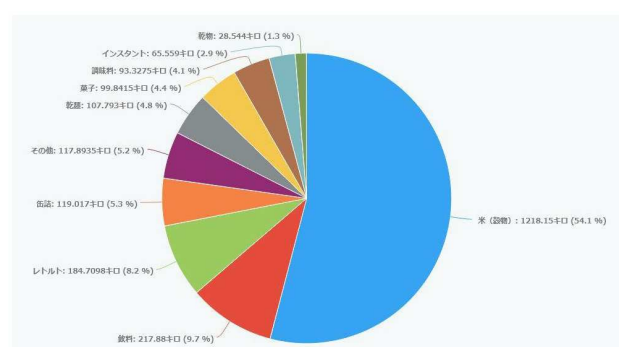
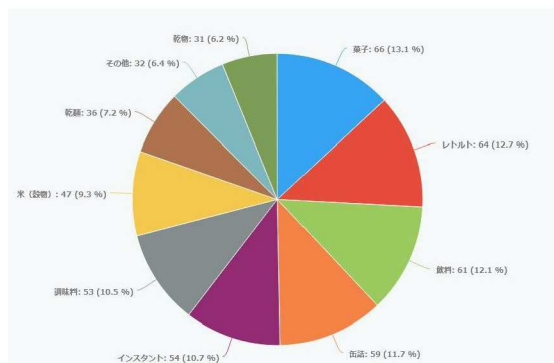
倉庫の様子

NPOの拠点であるアンカー市川の1階のスペースを使って食品の倉庫をつくっています
集まった食品をボランティアとして手伝っていただいているスタッフが仕分けをします

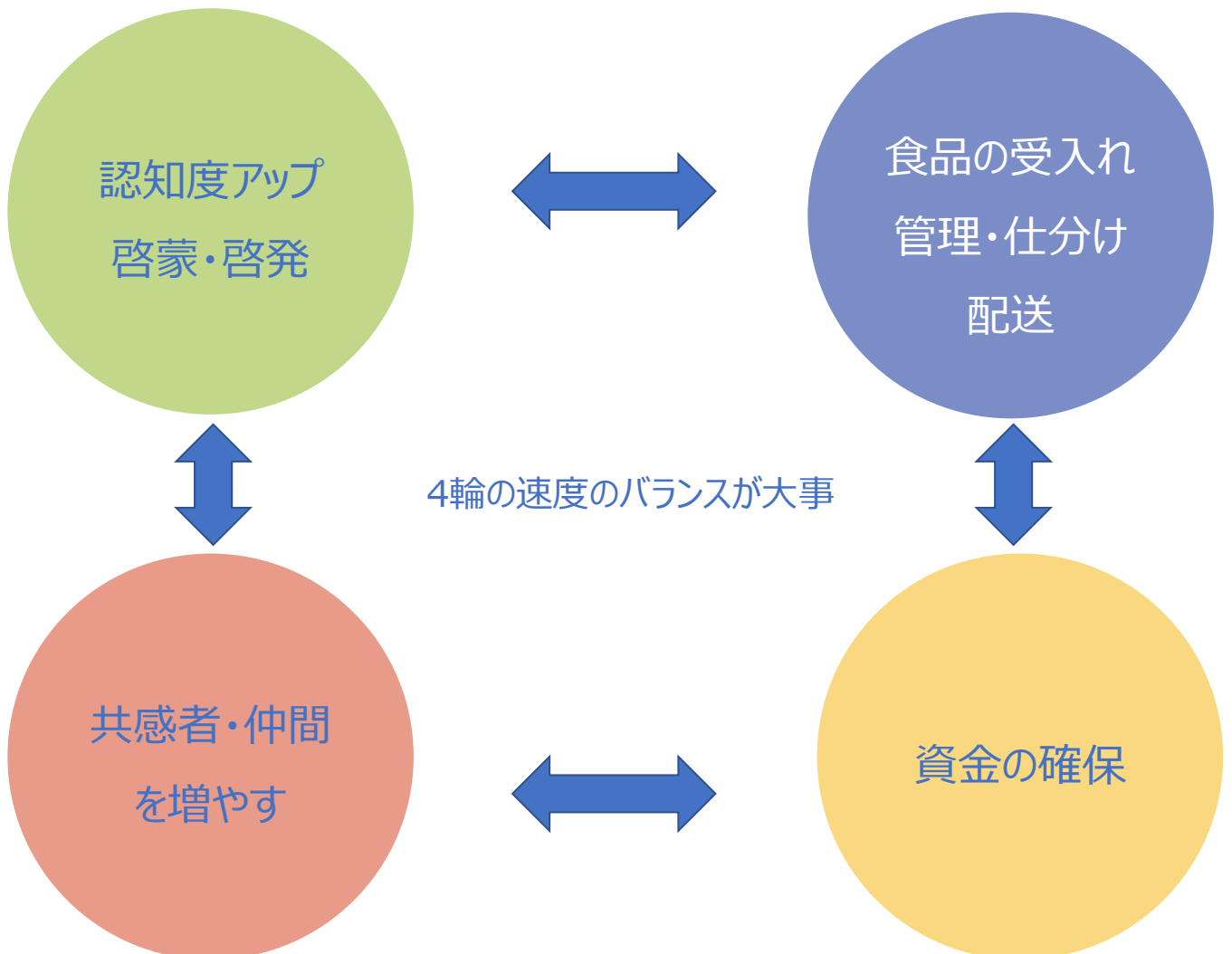


食品の受取り、管理、仕分け、配送

入庫、出庫、仕分け作業の効率化、見える化



今後の課題





たくさんと一緒に取り組む皆さんと
同じ理念と目標をしっかりと共有

資金の確保に力を入れる

